

建設用アルミケーブル ヨドバシ梅田タワーで採用

古河電工

古河電工は3日、注力製品であるアルミ導体を採用した建設用ケ

ーブルが大阪市北区で建設中のヨドバシ梅田タワーで採用されたと発表した。同社のアルミケーブルはアルミの特性を生かした軽さや、絶縁材料の工夫による高柔軟性などが特長。配線現場の負担軽減に貢献できる。今回はアルミ製CVケーブルと施工用の部材・工

具を組み合わせた「らくらくアルミケーブルシステム」として供給した。

建設業界では人手不足が深刻化しており、作業負担の軽減ニーズが高まっている。同社では電気工事現場の要望にこたえる建設用のアルミCVケーブル「らくらくアルミケーブル

」を注力製品に位置付けている。

「らくらくアルミケーブル」は従来の銅ケーブルと同じ通電容量を3割軽い重さで実現。さらに曲げやすさ

は約3倍に高めている。また低温化でも接続時の絶縁被覆除去がしやすいほか、販売価格が安定しており発注・積算業務の効率化にも貢献する。製造はグループ会社の古河電工業業電線が担当。

今回は初の大規模受注。タワークレーン用の電源工事では100〜120層の3条を手引きで延線。作業時間を3割短縮した。また本設用幹線ケーブル工事では約50層を20条手引きで延線。作業時間を4割抑えた。



施工時間を大幅に抑えられる「らくらくアルミケーブル」

